

⑬輸出拡大を目指す茶商の取組

【茗広茶業株式会社（静岡市）】

輸出

■活用した事業

「食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業（令和2年度）」を活用し、輸出先国の規制・条件に対応するため流動層造粒機、殺菌装置及び袋詰機等の機器を導入

■経営の概況

静岡市内や県外に工場を構え、「茶」原料を主軸とした、食品に関わる事業を展開。加工卸売販売のほか事業者からの受託加工も行う。

原料茶葉の主要仕入れ産地は、静岡、鹿児島や八女。

製品の安全性確保には、社内に品質管理室を設置し、徹底した品質管理による取引先へのデータ提供とリスク管理を実施。

製品の主な輸出先は、アジア（タイ・ベトナム・台湾）・オーストラリア、中近東（ドバイ、サウジアラビア）など。輸出相手国のニーズに応えるべく機械設備の導入及び各種認証（有機JAS・FSSC22000・ハラール等）を取得。

■取組内容

輸出相手国の規制やバイヤーが求める高い品質に対応するため、酸化防止、殺菌処理及び粉末製品の固形化防止等に適応した機器の導入に取組んだ。

事業を活用して機器を導入したことにより、加熱水蒸気による耐熱性菌の殺菌、窒素封入時の粉末の飛散軽減や賞味期限の更なる延長等が可能となり、従来より品質の高い製品を安定して供給できるようになった。また、流動層造粒機を導入したことで多様化する粉末茶に対するバイヤーの注文に対応することが可能となった。

機器導入の取組は、各種認証の取得と併せ品質の向上、輸出事業拡大の取組に貢献している。



本社外観



粉末茶対応袋詰機



流動層造粒機



箔押機



殺菌機